

東海第二発電所 審査資料	
資料番号	PD-1-15 改2
提出年月日	平成29年8月1日

東海第二発電所

地震による損傷の防止

(補足説明資料)

平成29年8月

日本原子力発電株式会社

本資料のうち、 は商業機密又は核物質防護上の観点から公開できません。

第 4 条：地震による損傷の防止

目 次

- 1 ダイヤフラムフロアの耐震クラスについて
- 2 第 4 条（地震による損傷の防止）における説明方針（改 1）

下線部：今回提出範囲

2 第4条（地震による損傷の防止）における説明方針（改1）

設置許可基準規則第4条（地震による損傷の防止）への適合を示すための東海第二発電所の耐震設計方針を説明する資料において、各説明項目の内容を踏まえた上で資料の位置付けを明確にする。

各説明項目に対する内容を踏まえて以下～のとおり分類するとともに、第4条への適合として安全審査段階で設計方針を明確にしておくべき事項、また工事計画段階にて継続して検討する事項とに整理した。東海第二発電所の耐震設計方針における説明項目に対する分類の整理を第1表に示す。

(1) 第4条への適合として安全審査段階で設計方針を定めておくべき事項

設置許可基準規則第4条への適合の説明として、東海第二発電所としての方針を示す資料（以下「第4条への適合方針を示す資料」という。）であり、安全審査段階で方針を定めておく事項

(2) 工事計画にて継続して検討する事項

a. 工事計画において基本方針として説明する資料（別添資料）

の方針を達成するために具体的事項等を説明する資料（以下「適合性に対する具体的事項を示す資料」という。）

概要図、断面図等を用いてに示す主要施設、土木構造物等の概要について説明する資料（以下「構造等の概要を説明する資料」という。）

の資料に示す方針に対して、その検討の概要を一部示す資料（以下「方針に対して検討概要を示す資料」という。）

b. 工事計画での検討を現時点での設計進捗として説明する資料（別紙資料）

上記a.項に基づき検討した内容として、工事計画の耐震計算に用いる手法、評価方針及び結果を含み、安全審査段階での検討状況を示す資料（以下「工事計画の検討状況を示す資料」という。）

第 1 表 東海第二発電所の耐震設計方針における説明項目に対する分類

東海第二発電所 説明項目	審査資料の分類 ^注
第 4 条地震による損傷の防止	
第 1 部	
第 2 部	
別添 - 1 設計用地震力	
別添 - 2 動的機能維持の評価	
別添 - 3 弾性設計用地震動 S_d ・静的地震力による評価	
別添 - 4 上位クラス施設の安全機能への下位クラス施設の波及的影響の検討について	,
別添 - 5 水平 2 方向及び鉛直方向地震力の組合せに関する影響評価方針	,
別添 - 6 屋外重要土木建造物の耐震評価における断面選定の考え方	,
別添 - 7 主要建屋の構造概要及び解析モデルについて	
別紙 - 1 既工認との手法の相違点の整理について（設置変更許可申請段階での整理）	
別紙 - 2 原子炉建屋の地震応答解析モデルについて	
別紙 - 3 応力解析における弾塑性解析の適用	
別紙 - 4 土木建造物の解析手法及び解析モデルの精緻化について	
別紙 - 5 機器・配管系における手法の変更点について	
別紙 - 6 下位クラス施設の波及的影響の検討について	
別紙 - 7 水平 2 方向及び鉛直方向の適切な組合せに関する検討について	
別紙 - 8 屋外重要土木建造物の耐震評価における断面選定について	
別紙 - 9 地震により発生する応力を考慮した燃料被覆管の応力評価について	
別紙 - 10 使用済燃料乾式貯蔵建屋の杭の健全性について	

- 注
- ：第 4 条への適合方針を示す資料
 - ：適合性に対する具体的事項を示す資料
 - ：構造等の概要を説明する資料
 - ：方針に対して検討概要を示す資料
 - ：工事計画の検討状況を示す資料